

夏号

2020年7月1日発行

来年はみんなと一緒にできるといいな

Photo by 井口美紀



# つなごて

NPO 法人  
魚沼交流ネットワーク

## 事業報告

- 4月28日 理事会（審議表決により実施）
- 5月20日 通常総会（審議表決により実施）

○全議案、承認及び賛成が定数に達し、承認・可決されました。

■ 下記、新型コロナウイルス感染拡大防止の為延期及び中止（森の学校）

- 4月25日 山仕事安全講習会（座学）  
チェーンソー目立て講習会
- 4月26日 きのご菌打体験
- 5月10日 自然観察会～新ルート探訪
- 5月24日 植樹地整備
- 6月7日 遊歩道整備
- 6月中旬 伊米ヶ崎小学校自然観察会

## 事業予定

- 8月16日 アートの体験ひろば（文化会館合同事業）  
森の学校 木工教室開催
- 9月20日 森の学校 植樹地草刈
- 10月3日 星山まつり 森の学校 木工教室

■ 中止が決まっている今後の事業

- 7月5日 森の学校 遊歩道整備
- 7月26日 森の学校 植樹地草刈  
小出まつり・堀之内十五夜祭り中止に伴い  
ECO活動、屠ろう会中止

■ 新型コロナウイルス感染状況により7月～9月の間、多くの事業が延期及び中止となっています。今後の予定も大幅に変更する可能性があります。



# 文化会館 Activity Report

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当館では4月21日から5月31日まで臨時休館措置を取らせていただきました。

その間、会館内では収束の折に皆さんが安心して笑顔で当会館に足をお運びいただけるよう「今だから私たちにできること」を合言葉に、様々な準備をしていました。その一部をご紹介します。



玄関先に応接セットを設置して開放的な空間で打合せ



①所作台磨き



②楽器類のメンテナンス



③カウンターリフォーム

## ①所作台磨き

所作台とは歌舞伎や能、日本舞踊などを舞うときに用いる檜（ひのき）の台をいいます。所作台を磨くのに使用したのはなんと豆乳、おから、片栗粉。豆乳やおからの油分で木へ潤いをあたえツヤを出し、よく乾かした後に片栗粉をではたいて足の滑りをよくします。3月には「弧の会」という集団の日本舞踊公演で所作台を使用予定です。ピカピカになった所作台にもご注目ください。

## ②楽器類のメンテナンス

当会館で所有する様々な楽器のメンテナンスを行い、シンバルなどはピカピカに磨き上げました。あわせて譜面台も一台ごとにメンテナンスしました。

## ③2フロビーのカウンターリフォーム

グラインダーで天板を削り、ニスを塗り直しました。まるで職人のような手際の良さで作業が進み、綺麗に仕上がっています。

## ④にいがた結（おすぶ）プロジェクト「ブルーライトアップ」参加

新品のLEDライトを使用し、ホワイエの柱をブルーにライトアップ。夜に美しく映えるよう、ライトの設置場所を工夫したり、青みを微調整したりしました。綺麗なブルーライトで感謝の気持ちを表現できました。



④「ブルーライトアップ」参加

# 1 木炭の話

魚沼市が新潟県の中で木炭の一大生産地ということをご皆さん知っていますか？

というより今日県内において、ほとんどの木炭は魚沼市内でしか生産されていません。



それも炭焼き職人は白炭生産者が4名、黒炭生産者が3名になっています。炭焼きの文化をなくさないように頑張ってくれてはいますが、特に需要のある黒炭生産では高齢化が進んでいます。

少し前まで日常的に家庭で使われていた木炭は各地で作られていましたが、生活様式も変わり、今ではある種の嗜好品になってしまいました。文化財等の古い家屋に行くと囲炉裏が切っただけ。みんなが「ここで火をおこすといいよね」って必ず言う。昔の生活に戻る必要もないけれど、火鉢や囲炉裏を囲んでゆったりとした生活。憧れているのは私だけではないはず…。

黒炭と白炭の違いは機会があれば、また後日。

記 井口 勉

# 2 灰を洗う

「灰を洗う」と聞くと、何で、何のために、そもそも灰って洗えるの？といった疑問が湧きますよね？

炭を使っていると灰は少しずつ増え色も白くなってフワフワと粉っぽくなってきます。そこで以下の手順で灰を洗うのです。

- ①灰をバケツに半分位入れてそこに水を入れて漉せ浮いた不純物を取り払い
- ②ひと晩置いて上澄みを捨て沈殿した灰を広げて乾かして
- ③手で揉みながら香茶で色をつけて良く揉み篩でふるいます。



手順①  
水を入れ、不純物を除く

こうすると灰の量は減りますがきれいになり灰がサラサラと扱いやすくなります。

茶道では、土用の頃にこの作業を行います。灰は心の鏡であり品格や個性が出るとのこと、毎年行うことで灰を育てるとも言われています。効率や含碳性を求める現在の生活ではなじまないかも知れませんが、私にとっては心を整える一つとなっています。



洗いあげたサラサラの灰

記 桑原 幸子

# 魚沼産の木炭

お米の袋に入れて小分け販売始めました

|          |         |
|----------|---------|
| 5 kg 袋詰め | 1,650 円 |
| 3 kg 袋詰め | 1,100 円 |
| 2 kg 袋詰め | 770 円   |

(すべて税込)



お問合せ  
(資)長亀商店  
☎792-0335

## 家時間を楽しむ

### 炭 灰 煙

家で過ごす時間が少し増えたこの頃。  
皆さんはどんな楽しみを  
みつけましたか？  
3つのキーワードから、  
家時間を楽しむヒントを  
探ってみました。

# 3 煙で食す

コロナ禍で仕事がお休み状態になった。

おかげで、仕事に関係ない作業がたくさん出来た。スモークするのもその一つ。古来、人は物を燻すことで保存性を高めたり防虫効果も利がせたりしてきた。が、現在において私の場合は、酒のつまみを作る手段の一つなのだ。

「燻煙」で思い出すのは、小さい頃、親戚の家の囲炉裏の上にぶら下がっていた干し柿の味である。ススで酸味を帯びた黒い干し柿がすこぶるおいしかったのを思い出す。干し柿は私にとって憧れの食べ物の一つである。「三つ子の魂百まで」というが、なぜかスモークをした食べ物が好きなのだ。今でも秋になり、柿を見ると干し柿を作りたくなってしょうがない。それも燻した柿を。これは私のソウルフードかも…。

煙でベーコンをスモークすると、肉の油と絡まって肉が茶色く艶を帯びてくる。おいしそうに見える。以前はスモークをかけるために、スモーカーに付きまわりだった。過去に悲しい経験があったからだ。美味しそうにほげ出来上がったベーコンをもう30分スモークしようと決め、スモーカーから離れた。帰ってきた時にはあのおいしそうなベーコンは消え、小さな炭の塊だけが無残に残っていた。半日以上かけたベーコンが…。それ以来、スモークをする時はずっとスモーカーの傍にいておくことにしていた。幸い、ここ数年はそれもなくいい様になった。製作費千円そこそこの自作温度コントローラにお任せして温度が上がり過ぎないようにしているからだ。

今では、ついでにチーズも一緒に安心して(温度が高いと溶けてしまうのです)スモークが出来るようになった。スモークをしたその日の夜は、それがピールの最高のつまみになるのです。乾杯！

記 大平 明

# 素のチカラ

## 和紙作りが教えてくれた感謝の心

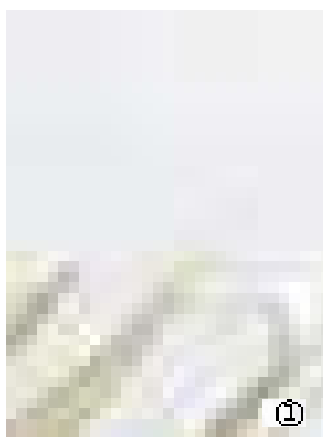
地域が元気になる活動をしている人や団体をありのままの魚沼の魅力と捉え、紹介します

魚沼手漉き和紙工房 小野塚 英幸

和紙を作っていく中に『雪さらし』という工程があります。原料である楮（こうぞ）の皮を、天気の良い日に雪の上に並べて漂白します。私はこの作業が好きです。黄色味がかっていた皮が段々と白っぽくなっていく様子は、まさに雪の白さを写しとっていると感じました。その皮をほぐして水に浮かべた時の美しさをほんやりとながめていると、この美しさは雪が作り出してくれているのだと気が付き、生まれて初めて雪に感謝の気持ちがいってきました。

生まれてこのかた雪を憂鬱な存在としてとらえてきた私に、その雪が明るい気持ちで冬を迎えられる変化をもたらしてくれました。受け止める気持ちの中に有り難さが生まれたおかげで、雪景色は以前より輝いてみる事ができます。感謝することで目の前が変わりました。そんな素晴らしい体験をこの和紙作りの中でさせていただきました。

苦しいことの中にも感謝する心を持つことができれば前に進んで行けるのだと、雪さらしが教えてくれた気がします。それはきっとこの雪深い魚沼に来たからこそ感じる事ができたのだでしょう。雪は冷たく冬は寒い中でも人はとても温かく、この仕事に就いてからも多くの方々に支えられ助けられて今日までやって来ることができました。そしてこの先も、辛い事、苦しい事はより多く持っていると思います。しかし、そんな中でこそ感謝する心を忘れず、そこにある有り難さを見つけて行きたいです。



① 原料の楮を丁寧に並べていく小野塚さん。  
② 『雪さらし』と呼ばれる漂白作業中の様子。  
③ 漉き上げた和紙。雪の白さを写しとり、白く盛っています。

### 魚沼映画専門店 Vol.156 『ミッドナイト・ミッション』

- 7月31日(金)～8月2日(日)
- 午前10時・午後3時上映
- 魚沼市小出郷文化会館 小ホール  
一般 1,100円  
学生・シニアの会 900円  
未就学児、母子手帳をお持ちの妊婦さんは 無料



\*入場無料をしております

### 展示会放浪記 その6 番外編

展示会場は人が最も多く集まる所。海外からの人も多い。1月まではなんとが訪れていた展示会場も、さすがに2月以降は COVID-19 で仕事がキャンセルになった。さらに展示会そのものが中止になり、内心ほっとした。展示会場はもっとも危険な場所の一つだから。

計測器展示会の取材をすればするほど世の中の頂点にいるのは自動車産業だと感じさせられる。あらゆる技術が自動車に向いているような感じだからだ。映画の MI(ミッションインポッシブル) に出てくるような空間中に画面が現れ、それをあたかもそこにキーボード等の装置があるかのようにして操作する。空間を指で操作しても何の感覚もないと思うだろうが、さにあらず。ちゃんと感じるのだ。空間にある仮想スイッチのボタンを押すと、指先に押す感覚が伝わってくるのだから感動してしまう。そういうものが自動車の

操作用に開発されてきている。

車のフロントガラスには、映像が写し出され、運転を気にしないで映像を楽しめる。本当の自動運転はまだ先の話だが、整備された高速道路ではそんな事が可能になっている。燃費に始まった5G通信回線のCM。これも自動運転に欠かせない技術の一つ。更には全個体電池の開発。これには賛否両論あるようだが、液体を使わない電池でトヨタが旗を返っている。

もう少しすると、私は車の運転を続けるかやめるかの判断をしなければならない年になる。総会は良いが、田舎は車がないと不便極まりない。事故が減り、年寄りも年齢を気にせず運転できるものができれば、自動車産業が頂点に君臨するのは大歓迎だ。

記 大平 明

### アートの体験ひろば 夏講座

- 8月16日(日)
- 午後1時30分から
- 魚沼市小出郷文化会館 2Fロビー

体験コーナーがなくさん詳しくは会館まで！

発行：NPO 法人魚沼交流ネットワーク  
住所：〒946-0023 魚沼市千俣 1848-1 (魚沼市小出郷文化会館内)  
電話：025-792-1336 FAX：025-792-6776  
Mail：npo@uonumakara.com URL：http://www.uonumakara.com/npo/  
Facebook：https://www.facebook.com/npo-uonuma/